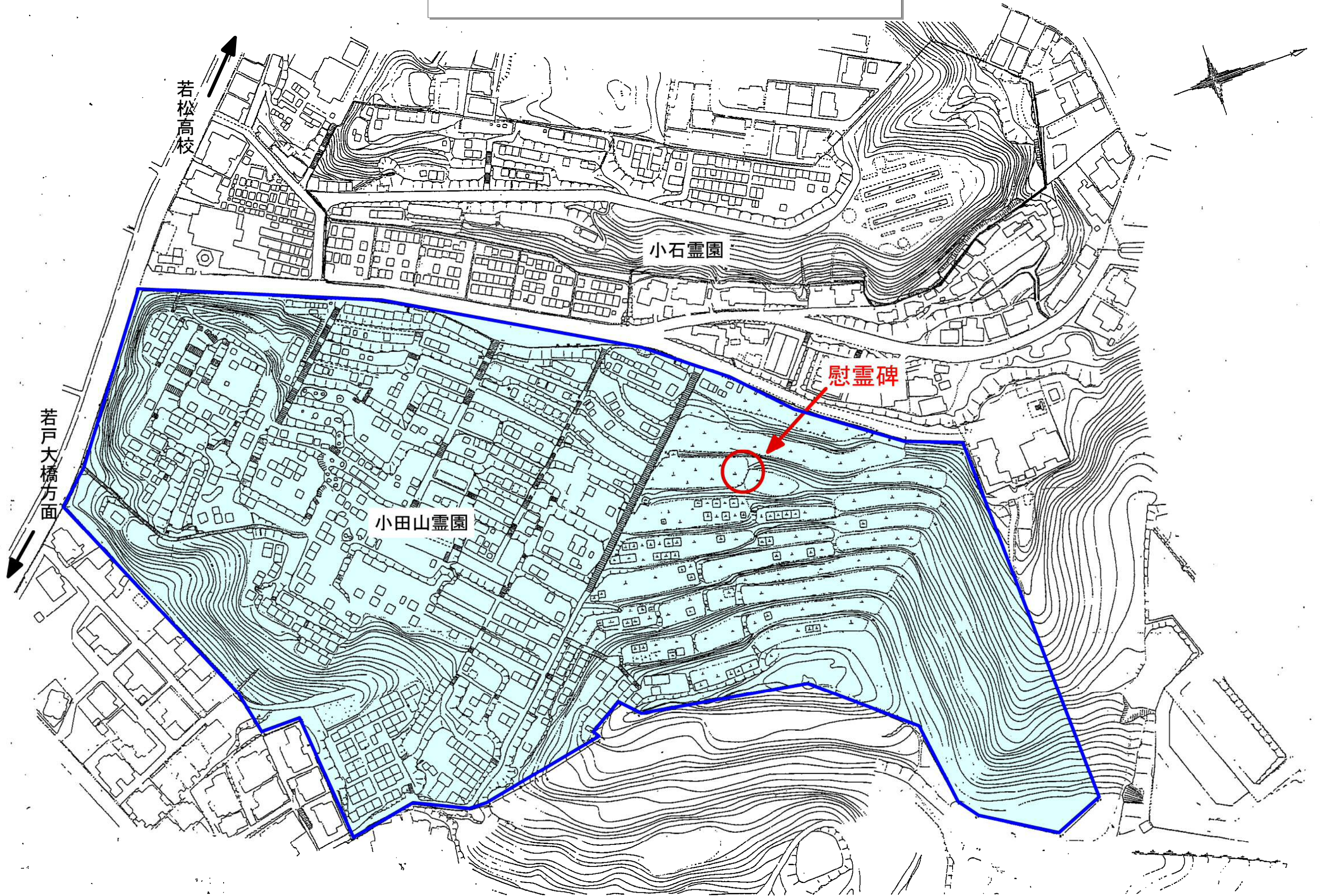


慰靈碑位置図 (小田山霊園)







碑の由来

日本は1910（明治43）年に「韓国併合に関する条約」を発効させ、朝鮮半島を植民地にしました。

この政策により、土地や生活基盤を奪われ、日本に移住を余儀なくされた朝鮮の人たちがいました。また、太平洋戦争が進む中で、日本へ強制的に連れて来られ、工場や炭坑などで過酷な労働を強いられた人も少なくありません。

1945（昭和20）年8月15日、戦争の終結により、日本にいた多くの朝鮮の人たちが故国を目指しました。その途中、若松沖で9月17日、枕崎台風に襲われ遭難された方々がこの地に葬られています。

この碑は、この遭難者の霊の安らかなことと、平和友好を祈念する意を込めて、建立されたものです。

1995年8月

北九州市